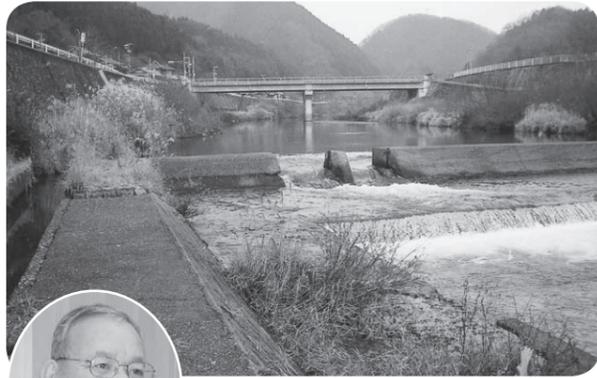


園部町北部を潤す大西井堰（日吉町殿田）



活緑クラブ 矢野 康弘 議員

### 水路改修に助成を

地域要望に応えていきたい **市長**

**問** 9月から12月にかけて道路やJR吉富駅、八木駅で差別落書きが連続して起こった。極めて悪質な事件である。人権問題は、憲法14条に「法の下に平等であつて、差別されない」としており、さらに同対審答申や特別措置法によって地域は大きく変貌したが、心理的差別は今なお残っている。人権教育・啓発推進法ができ、国および市町村の行政責

任を明確にしているが、この事件で今後どう対応するのか伺う。  
**市長** 市民一人ひとりが、絶対に差別を許さないという共通認識を深めるための啓発を強める。  
**問** あらゆる人権について人権侵害があったとき被害者を救済する方策が必要である。人権侵害救済法の制定について考えを伺う。また、人権政策確立要求

実行委員会についてどう対応するのか。  
**市長** 差別を禁止し人権を侵害された被害者の救済を図ることを法的に行うことは必要と考える。  
**問** 米価が大きく下がった中で集落営農組合の市の限度面積は15・6ヘクタールでこの地域では、なかなか達しない。市も営農支援として面積の緩和が必要とされているが、個人経営農家への支援策は、

加入要件が厳しいが、私も国・府に強く訴えていく。  
**問** 水路の維持管理も大西堰のように7キロと長い水路ほど修繕が大変である。市の土地改良事業費の限度額50万円を倍額以上に引き上げていただきたい。  
**市長** 財政状況を考えると補助基準の上乗せは厳しいが、限られた財源の中で地域要望に応えていきたい。

整備が進む市街地再開発事業



丹政クラブ 森 嘉三 議員

### まちづくり整備基金の見通しは

市街地整備事業に充当 **市長**

**問** 基金を取り崩す厳しい財政状況の中で、引き続き基金の現状と今後の見通しは。また、園部町で財源確保され、市街地再開発事業等の資金として、引き続き継がれた「まちづくり整備基金」の現状と、残額で事業完了ができるのか伺う。  
**市長** 旧町からの引継ぎ額は約93億円で園部町からは約43億円であり整備基金は約16億円

で、園部地域の事業に充当されており、基金残額で市街地整備事業についても事業推進ができると考えている。  
**問** 園部女性の館は、南丹市園部国際学園都市センターが指定管理者の継続更新を受けないと聞いた。女性の館は、運営委員が連携をして、企画や管理運営まで自主的にを行い、有効に活用されてきた。指定管理者の返上となれば、市としては、ど

のような施設に位置づけ、事業推進していくつもりなのか伺う。  
**市長** 女性の館は女性政策、男女共同参画社会の推進に多大な貢献をしている。センターから指定を受けない申し出があり、今後は市として運営委員会と一緒に、市の中核的施設として位置づけ、設置目的に即した機能発揮に向け、取り組んでいきたい。  
**問** 園部町と八木町の

都市計画区域内では、都市計画税が課税されているが、税の状況と使われている具体的な事業および支出内容を伺う。  
**市長** 目的税として、都市計画事業、土地区画整理事業等に充てており、18年度は都市計画事業費、約30億円にかかる、1億2500万円を都市計画税で賄った。

安定した財政運営が今後の課題



日本共産党・住民協働市会議員団 高野 美好 議員

### 市の財政健全化の方策は

市長 枠配分方式を導入

**問** 新しい財政健全化法が施行され、中央統制が強められるとともに、地方自治体の自主再建の道が閉ざされ、自治体リストラがさらに進められようとしている。  
南丹市の財政健全化計画が示されたが、基金は平成23年度には枯渇する計画となっており、健全化計画とは言い難い内容となっている。市の財政健全化の方

策を伺う。  
**市長** 誠に厳しい財政状況にある。例年ごとの予算編成では財政の健全化は維持できない。「枠配分方式」を導入し、費用対効果を勘案するとともに、聖域なき見直しを行う。  
**問** ゆるやかな合併を進めるといふ協定に基づき、総合支所の設置とともに参与を配置してきた。8月に実施された機構改革の検討会に参与は参加できずに、

蚊帳の外に置かれていたと聞く。支所の職員が大幅に減った今、参与の権限と機能はかなり低下してきていると考えるが、市長の見解を伺う。  
**市長** 私の認識とは違う。合併協議の中で作り上げられた参与機能は十分に発揮されている。任期は4年以内と定められている。そのことを尊重していく。  
**問** 合併処理浄化槽の設置希望者が激減して

きている。それは、設置後の維持管理経費が高いからである。管理組合への助成の充実、保守点検や汚泥引き抜き費用の引き下げなど、市としての対応策を伺う。  
**市長** 環境に対する理解を得るよう一層の啓発を図る。維持管理を統一的に監視するシステムの確立を検討する。

人権意識の高揚を図るため市民を対象とした人権教育講座



活緑クラブ 藤井日出夫 議員

### 連続差別落書きの対応は

市長 人権啓発を推進

**問** 人権問題について、本市における連続差別落書きについて、また、その対応について、市長、教育長の見解を伺う。  
**市長** 市としては人権問題事象検討連絡会で対応協議し、こうした行為を未然に防ぐため主要な施設に防犯カメラの設置等を検討している。今後ともに市政の柱として同和問題を許さない社会実現に努

め積極的な人権啓発を進める。  
**教育長** 人権が尊重される差別のないまちづくりを努める。学校教育においても同和問題を人権問題の重要な柱と位置づけ、正しい理解の基礎を培う取り組みを推進する。  
**問** 農業問題について、京野菜のブランド化と農作物の販路拡大について伺う。次に各地域で活動している営農組織への積極的な支

援と助成が必要と思うが、市長の見解を伺う。  
**市長** 大変きびしい状況の地域農業と認識している。  
新しい国の施策を十分取り入れ、個々の課題について、行政としての支援と助成をすべきと考えている。  
**問** 道路問題について、府道佐々江下中線の整備について、冬季の積雪・凍結等安全策について府当局へ強く要望すべきと思うが、

市長の見解を伺う。  
**市長** 本路線は冬季は危険な箇所と認識している。改良済み路線であるが、交通安全の上から府当局へ要望し、改善に努める。